

令和8年度就労継続支援B型事業所のみのり 第1回 地域連携推進会議 議事録

1.日 時：令和8年7月30日（木） 11時～11時30分
11時30分～12時（施設見学）

2.場 所：白井市福祉センター会議室

3.出席者

利用者1名
利用者の家族1名
地域住民・地域関係者 2名
福祉分野に知見のある者 3名
経営・運営に知見のある者 1名
施設所在地の市町村担当職員 1名
事務局： 3名

4.会 議 概 要

（1）開会

（2）委嘱状交付

（3）あいさつ

- ・各委員より自己紹介

（4）地域連携推進会議の趣旨等について

- ・本会議は利用者と地域住民の関係づくり、サービスの質の確保、運営の透明性の強化、利用者の権利擁護等を目的に設置している。
- ・会議の開催は年1回以上開催予定である。
- ・会議では、利用者の日常生活の様子、経営状況報告、支援の様子及び利用者の意向の共有を図るものである。
- ・会議で知れた個人情報については、第三者に漏らさないこと。
- ・施設を見学いただき、施設及び支援環境等について意見をいただきたい。

（5）議題

議題 1 地域連携推進会議について	※別添	会議資料により説明
議題 2 みのりの近況報告にについて	※別添	会議資料により説明

- ・職員体制は常勤が3名、非常勤2名となっている。
- ・委託・受注作業は年間を通して切れ間なく仕事がある状態となっている。
- ・新たな作業として、シイタケ栽培や米袋を使ったトートバックなどを製作している。
- ・施設外就労の検討や白井市工業団地協議会への営業活動を行うこととしている。

〈説明補足〉

- ・アルミの価格が高騰しており、アルミ缶の寄付をいただいている方に感謝。
- ・カラオケ発表会はセンター利用者との交流や、利用者の楽しみとなっている。
- ・9月11日（金）に日帰り研修を実施している。行先は、佐倉きのこ園、国立歴史博物館、オソロク倶楽部を予定している。
- ・各委員に日帰り研修への参加を呼び掛けた結果、5名の参加希望があった。

（6）今後の予定等

- ・10月17日（土）・18日（日）チャリティーバザー
- ・10月31日（土）福祉センターフェスティバル
- ・自主製品（トートバック）の販売に力を入れていきたい旨の説明をした。

〈主な意見等〉

- ・C トートバックは携帯電話を入れるくらいの小さいもの良いと思う。
- ・C コースターは、少し揉んで柔らかくしたほうが使いやすいと思う。
- ・C アルミ缶を集めて寄付しているので、役立ってうれしい。
皆さんもアルミ缶を集めてみてください。

〈利用者への質問〉

- ・Q 柿渋染をして大変なことはないか？
A 液が飛んでしまうこと（補足：布製の洋服に付くと落ちなくなってしまうため、汚れてもいい服装で作業をしている）

（7）その他

- ・地域連携推進会議の議事録は公表することが義務化されており、個人情報を保護したうえで、ホームページで公開することの了承を得た。

（8）施設見学（委員からの意見等）

- ・床の張替えにより安全性が確保され、明るくなった。
- ・集中して作業に取り組んでいる様子が見学できてよかった。

（9）閉会